

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|--------|------------|
| ○事業所名 | ハッピーテラス小田原教室 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年3月16日 | ～ | 2026年4月15日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 27 | (回答者数) | 17 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年4月16日 | ～ | 2026年4月30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 6 | (回答者数) | 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年5月15日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 児童の意向を取り入れながら、集団活動を中心に個別支援も組み合わせた支援を行っている | 児童の意向を聞き取る機会を設け、活動やイベント内容に反映することで、自己選択の機会を確保しています。また、集団活動を中心としながらも、児童の状況に応じて個別対応を取り入れています。 | 児童がより主体的に活動内容を考えたり選択できる機会を増やし、自己決定力の向上につながる支援の充実を図ってまいります。 |
| 2 | 職員間の情報共有と支援の統一が図られている | 支援開始前の打ち合わせによりプログラム内容や役割分担を共有するとともに、支援日誌をシステムに入力し記録を徹底しています。また、記録をもとに保護者へ定期的にフィードバックを行っています。 | 記録内容の振り返りや分析をより活用し、支援の質の向上および職員間の共通理解のさらなる強化につなげてまいります。 |
| 3 | 保護者との情報共有および連携体制が整っている | 保護者の送迎時や面談に加え、定期的な通信の発行を通じて保護者へ情報提供を行い、日々の様子や課題について共通理解を図っています。また、児童に対しては視覚支援等を用い、分かりやすい情報伝達に努めています。 | 保護者ニーズを踏まえた情報提供の工夫や、より分かりやすい伝達方法の検討を行い、家庭との連携の質の向上を図ってまいります。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 地域との直接的な交流機会が少ない点 | 現状は関係機関との連携が中心となっており、地域住民との交流機会の設定が十分に行えていないことが要因と考えられます。 | 地域イベントへの参加や交流機会の創出について、無理のない範囲で段階的に取り組んでまいります。 |
| 2 | 保護者参加型の取り組みにおける参加機会の活用が限定的である | 保護者参加型のイベントを年に1回開催しておりますが、参加人数が少ないため、参加のしやすさやニーズの把握が十分に行えていない可能性が考えられます。 | 参加しやすい形式や内容の工夫を行い、ニーズに応じた柔軟な機会提供を検討してまいります。 |
| 3 | 関係機関との連携にばらつきがある | 学校や関係機関ごとに対応状況や協体制に差があることにより、連携の質にばらつきが生じていると考えられます。 | 授業参観への参加や情報共有の機会を継続しながら、関係機関との連携強化および情報共有の均一化を図ってまいります。 |